

日本生物学的精神医学会 2025年度（R7）若手研究者育成プログラム

■プログレスレポート（最優秀奨励賞選考）

日 時：11月14日（金）8:40～11:40

会 場：第6会場（Room F）

司 会：平野 羊嗣（宮崎大学）

挨 拶：池田 匡志（名古屋大学）

発表前半 8:40～8:45 挨拶：池田 匡志（名古屋大学）
8:45～9:59 座長：上野 修一（愛媛大学）・
牧之段 学（熊本大学 / 藤田医科大学）

8:45～8:59 笹林 大樹（富山大学）
9:00～9:14 扇谷 昌宏（旭川医科大学）
9:15～9:29 高橋 雄太（国立精神・神経医療研究センター）
9:30～9:44 有岡 祐子（名古屋大学）
9:45～9:59 松本 純弥（国立精神・神経医療研究センター）
10:00～10:10 休憩

発表後半 10:10～11:10 座長：林 朗子（理化学研究所）・加藤 隆弘（北海道大学）
10:10～10:24 大塚 郁夫（神戸大学）
10:25～10:39 中村 匠（Yale University）
10:40～10:54 三村 悠（慶應義塾大学）
10:55～11:09 山田 悠至（国立精神・神経医療研究センター）

ショートトーク（発表1分） 11:10～11:35 座長：疋田 貴俊（大阪大学）
森田健太郎（東京大学）
中神由香子（京都大学）
松田 真悟（昭和薬科大学）
宮下 光弘（東京都医学総合研究所）
柏木 宏子（国立精神・神経医療研究センター）
ベナー聖子（国立環境研究所）
二宮 光平（藤田医科大学）
向井馨一郎（兵庫医科大学）
高松 岳矢（琉球大学）
岡村 和哉（和歌山県立医科大学）
陳 冲（山口大学）
伊藤 鳩姫（国立精神・神経医療研究センター）
11:35～11:40 総括：平野 羊嗣（宮崎大学）

■第1回最優秀奨励賞受賞講演

日 時：11月14日（金）13:10～13:40
会 場：第6会場（Room F）
座 長：小池 進介（東京大学）・越山 太輔（東京大学）
演 者：宮田 淳（愛知医科大学）

■第1回奨励賞受賞者講演

日 時：11月14日（金）13:40～15:10
会 場：第6会場（Room F）
座 長：沼田 周助（徳島大学）・紀本 創兵（和歌山县立医科大学）

13:40～13:54 千葉 俊周（国際電気通信基礎技術研究所）
13:55～14:09 田畠 光一（東京科学大学）
14:10～14:24 西 佑記（奈良県立医科大学）
14:25～14:39 新井 脩泰（慶應義塾大学）
14:40～14:54 青峰 良淳（大阪大学）
14:55～15:10 講評：池田 匡志（名古屋大学）

■第5回若手研究者育成プログラム新人賞

本大会にて審査を行います。

■令和7年度若手研究者育成プログラム交流会

日 時：11月13日（木）18:50～19:30
会 場：第2会場（Room D）
参加方法：事前申込制 / 定員 90名

若手研究者育成プログラムは、若手の生物学的精神医学研究者を大学などの垣根を越えて、生物学的精神医学会にて育成することを目的にしています。これまで大会期間中の若手研究者育成プログラム内の限られた時間の中で討論を行ってまいりましたが、もっと討論したい、もっと質問したい、もっと詳細に研究内容を知りたい、という要望が出てまいりました。昨年に引き続きまして、日本生物学的精神医学会若手育成プログラム交流会を開催し、十分な時間をとり、日ごろの疑問や意見や情報を積極的に交換できる場を提供する運びとなりました。ぜひ、ふるって参加していただき、研究者間の交流を深めていただけましたら幸いです。特に、大学院生、専攻医、学会初参加の皆様を歓迎いたします。

学会参加者であれば、生物学的精神医学会員でなくても参加可能ですので、非会員の皆様もぜひご参加ください。

グループディスカッションへの参加費は無料です。

【申込方法】

交流会の申込先：

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSf4kQzeqwTDCDdgGH_1EjNlyrNgfXpHbJVLrqikcaUeRiobcA/viewform

塩飽 裕紀（令和7年度若手研究者育成プログラム交流会代表世話人）

日本生物学的精神医学会 学術賞

受賞者：中村 匠（理化学研究所脳神経科学研究センター／順天堂大学大学院医学研究科）
論文名：Transcriptomic dysregulation and autistic-like behaviors in *Kmt2c* haploinsufficient mice rescued by an LSD1 inhibitor

授賞式・受賞講演

日 時：11月14日（金）12:00～12:30
会 場：第7会場（Room G）
司 会：岩本 和也（熊本大学大学院生命科学研究部分子脳科学講座）
賞状授与：加藤 忠史（順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学）

日本生物学的精神医学会 国際学会発表奨励賞

受賞者：田畠 光一（東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学分野 /
東京都医学総合研究所 臨床医科学研究分野 統合失調症プロジェクト /
東京都立松沢病院 精神科）

論文名：Hypozincemia is associated with clinical severities of schizophrenia

受賞者：池原 実伸（奈良県立医科大学精神医学講座）

論文名：精神疾患モデルマウスにおける前頭前野局所回路への神経調節の効果

受賞者：荒深 周生（名古屋大学大学院医学系研究科精神医学 /
愛知医科大学加齢医科学研究所神経病理部門）

論文名：Neuropathological substrate of incident dementia in older patients with schizophrenia

発表

日 時：11月14日（金）15:20～16:20
会 場：ポスター会場（国立京都国際会館 Annex 2）

日本臨床精神神経薬理学会 ポール・ヤンセン賞/学会奨励賞/Young Researcher賞

1. 受賞論文

（1）ポール・ヤンセン賞

筆頭著者：大谷 洋平（慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室 /
医療法人ぐすのき会南飯能病院）

受賞論文：日本人治療抵抗性うつ病患者に対する静脈内ケタミン治療の有効性と安全性：
二重盲検無作為化プラセボ対照試験

Efficacy and safety of intravenous ketamine treatment in Japanese patients with treatment-resistant depression: A double-blind, randomized, placebo-controlled trial

筆頭著者:菊地 佑樹 (東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野 / こだまホスピタル)
受賞論文:クロザピン誘発性炎症と好酸球增多の関係

Relationship Between Clozapine-Induced Inflammation and Eosinophilia: A Retrospective Cohort Study

(2) 学会奨励賞

筆頭著者:青木 宣篤 (関西医科大学精神神経科学講座 / Department of Psychiatry, University of New South Wales, Sydney, New South Wales, Australia / Black Dog Institute, Randwick, New South Wales, Australia)

受賞論文:統合失調症に対する電気けいれん療法後の再発:系統的レビューとメタ分析
Relapse following electroconvulsive therapy for schizophrenia: A systematic review and meta-analysis

筆頭著者:石川 修平 (北海道大学病院 精神科神経科)

受賞論文:抗精神病薬による体重増加に関する因子の評価:全国規模のコホート研究

筆頭著者:久保 醍彦 (慶應義塾大学医学部 精神・神経科学教室)

受賞論文:せん妄へのヒドロキシジンとハロペリドールの経静脈投与の効果比較:後方視的調査
Effects of intravenous hydroxyzine versus haloperidol monotherapy for delirium: A Retrospective Study

(3) Young Researcher 賞

筆頭著者:蝦名 拓海 (名古屋大学大学院医学系研究科 精神医学分野)

受賞論文:第二世代抗精神病薬によるジストニア:PMDA 医薬品副作用データベースを用いた解析
Second-generation antipsychotic-induced dystonia: Analysis using the Japanese Adverse Drug Event Report (JADER) database

2. 授賞式

日 時:11月14日(金) 19:00~21:00

会 場:国立京都国際会館 1階 さくら

BPCNPNP2025 合同年会 懇親会にて

3. 受賞講演(ポール・ヤンセン賞のみ)

日 時:11月14日(金) 17:50~18:30

会 場:国立京都国際会館 第4会場(Room C-1)

座 長:古郡 規雄 (獨協医科大学精神神経医学講座)

日本臨床精神神経薬理学会 海外研修員制度

海外研修員帰朝講演（報告）

日 時：11月14日（金）18:30～18:50

会 場：国立京都国際会館 第4会場（Room C-1）

座 長：古郡 規雄（獨協医科大学精神神経医学講座）

報 告 者：大迫 鑑穎（千葉大学大学院医学研究院精神医学 / Department of Psychology, Bellvitge University Hospital - Bellvitge Biomedical Research Institute (IDIBELL), Barcelona, Spain / メンタルヘルスカゴしま中央クリニック）

演 題 名：過食行動の依存モデルに基づく Food Addiction 研究：神経内分泌学的視点から

日本臨床精神神経薬理学会 第25回臨床精神神経薬理学セミナー

日本臨床精神神経薬理学会専門医制度委員会は、精神神経薬理学に関する優れた学識と高度の技術及び倫理観を備えた精神神経薬理学専門医を養成し、良質の医療を提供することを目的に「臨床精神神経薬理学セミナー」を開催してまいりました。第25回となる今回は「遲発性ジスキネジアを含む遅発性錐体外路症候群の薬物療法とマネジメント」、「向精神薬の薬物動態」、「認知症に対する薬物療法」がテーマです。

専門医申請及び更新を目指す医師に限らず、生涯学習の一環として受講を希望される会員（当日会員も可）はどなたでもご参加頂けます。受講された方には専門医申請及び更新の際、単位として必要となる受講証が発行されます。奮ってご参加下さいよう、お願い申し上げます。

一般社団法人日本臨床精神神経薬理学会 理事長 古郡 規雄
専門医制度委員会 委員長 嶽北 佳輝

日 時：2025年11月15日（土）8:40～10:40 / 受付開始時間 8:10～

会 場：国立京都国際会館 第3会場（Room E）

対 象：日本臨床精神神経薬理学会会員、日本神経精神薬理学会会員、非会員（当日会員）
精神神経薬理学専門医申請及び更新を目指す医師の方

生涯学習の一環として受講を希望される方

研修単位：専門医更新のための単位（10単位）を授与いたします。

受講料：

区分	受講料【税込】
精神神経薬理学専門医	5,000円
上記以外	10,000円

※当日、領収書付き参加証をお渡しいたします。

※当日お申込みの方は、現地受付（現金のみ）にてお支払いください。

プログラム

- 司会：伊賀 淳一（愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学講座）
坪井 貴嗣（杏林大学医学部精神神経科学教室）
- 演者：遅発性ジスキネジアを含む遅発性離体外路症候群の薬物療法とマネジメント
金原 信久（千葉大学社会精神保健教育研究センター）
向精神薬の薬物動態
鈴木 映二（東北医科大学精神科学教室）
認知症に対する薬物療法
馬場 元（順天堂大学医学部附属順天堂越谷病院メンタルクリニック / 順天堂大学大学院医学研究科精神・行動科学）

当日申込

11月15日（土）8:10～、会場前でも申込を受付いたします。

受講証

事前にお申込みいただいた方には、セミナー終了後に受講証をお渡しいたします。
当日お申込みいただいた方の受講証は、後日郵送いたします。再発行はいたしませんので大切に保管してください。
※セミナー開始時間に遅刻した場合は、受講できない場合がございます。

お問合せ先（学会事務局）

一般社団法人日本臨床精神神経薬理学会 専門医制度委員会 事務局
〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 一ツ橋別館4階
(株式会社エー・イー企画 内)
TEL 03-6685-8760 / FAX 03-3230-2479
E-mail:jscnp-ss@aeplan.co.jp

日本神経精神薬理学会 学術奨励賞

授賞式・受賞講演

- 日 時：11月15日（土）12:00～13:00
会 場：国立京都国際会館 第7会場（Room G）
座 長：加藤 正樹（関西医科大学 医学部 精神神経科学講座）
第14回 受賞者：神経発達症の性差を生み出す分子機構の解明
吉川 貴子（東北大学大学院医学系研究科 発生発達神経科学分野）
第15回 受賞者：間歇型一酸化炭素中毒の海馬における病態究明に関する研究
越智紳一郎（愛媛大学大学院医学系研究科精神神経科学）

日本神経精神薬理学会 TSBPN-JSNP Academic Exchange Award 2025

授賞式・受賞講演

日 時：11月14日（金）16：40～17：40

会 場：国立京都国際会館 第4会場（Room C-1）

座 長：笠井 慎也（山梨大学生命環境学部生命工学科）

北市 清幸（岐阜薬科大学 薬物動態学研究室）

受賞者：Exploring the human gut microbiota targets in relation to the use of contemporary antidepressants

Shih-Kai Kevin Lin (Department of Public Health & Institute of Epidemiology and Preventive Medicine, College of Public Health, National Taiwan University, Taipei, Taiwan)

Evaluation of alpha neurofeedback training to enhance sleep in remitted depression and anxiety sufferers with persistent insomnia

Tsung-Hua Lu (Department of Psychiatry, National Cheng Kung University Hospital, College of Medicine, National Cheng Kung University, Tainan, Taiwan)

NPPRセミナー

オープンアクセスとアカデミックジャーナルの未来

オープンアクセス（OA）とオープンサイエンスの進展に伴い、学術出版を取り巻く環境が激変している。本シンポジウムでは、出版・購読費用の高騰、再現性の向上、AIとジャーナルの関係性など多様な課題に焦点を当てつつ、アカデミックジャーナルの未来について議論を行う。東北大学図書館長の大隅がチアを務め、Neuropsychopharmacology Reports 編集長で、CINP の出版委員会・委員長でもある宮川が学会誌におけるオープンデータやオープンサイエンスの取り組みを、研究大学コンソーシアムによる転換契約を主導する小泉が世界動向の視点を交えつつ OA 推進による研究力強化の案を紹介し、文部科学省の国分参事官（情報担当）が国の OA ポリシーや基盤整備、インセンティブ施策などについて解説する。最後にフロアとの質疑応答・議論を行う。

日 時：11月15日（土）13：10～15：10

会 場：国立京都国際会館 第5会場（Room C-2）

座 長：大隅 典子（東北大学）・南 雅文（北海道大学）

パネリスト：宮川 剛（藤田医科大学）

小泉 周（自然科学研究機構）

土井 大輔（文部科学省）

次回大会情報

BCNP2026 合同年会

テーマ：多様性と調和が拓く精神・神経疾患研究の新時代

会期：2026年10月30日（金）・31日（土）・11月1日（日）

会場：ライトキューブ宇都宮（〒321-0969 栃木県宇都宮市宮みらい1-20）

会長：第48回日本生物学的精神医学会年会（JSBP）

会長 三島 和夫（秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座）

第36回日本臨床精神神経薬理学会年会（JSCNP）

会長 古郡 規雄（獨協医科大学精神神経医学講座）

第56回日本神経精神薬理学会年会（JSNP）

会長 古屋敷 智之（東京科学大学大学院医歯学総合研究科薬理学分野）

第10回日本精神薬学会総会・学術集会（JSPP）

会長 黒沢 雅広（昭和医科大学薬学部 病院薬剤学講座 / 昭和医科大学烏山病院 薬局）

運営事務局：株式会社エー・イー企画

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-4-4 一ツ橋別館4階

Tel: 03-3230-2744 E-mail: bcnp2026@aeplan.co.jp